

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者様もしくは患者様の代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	当院での精巣精子採取術の成績についての検討		
2. 対象患者様	以下の期間において当院で肉眼的精巣精子採取術を受けられた方		
3. 対象となる期間	2005年 1月 1日 ~ 2017年 12月 28日		
4. 実施診療科等	産科婦人科 泌尿器科		
5. 研究責任者	氏名	福原 理恵	所属 産科婦人科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	特にございません		
7. 研究の意義	無精子症に対する精子採取法として、肉眼的精巣精子採取術(simple TESE)と顕微鏡下精巣精子採取術 (micro TESE)があります。非閉塞性無精子症など、症例によってはsimple TESEでは精子採取が困難でmicro TESEが必要となることがあります。また、精巣精子採取術によって精巣萎縮や男性更年期症の合併症があり、micro TESEが必要な患者様ではsimple TESEを回避してはじめからmicro TESEを行うことが推奨されています。青森県内でmicro TESEを施行できる施設はなく、micro TESEが必要と考えられる症例であっても県外で治療できない患者様については、当院で泌尿器科と連携してsimple TESEを施行しています。本検討により、simple TESEで精子回収できる症例・困難な症例を予測し、適切な治療法について患者様に提示できると考えられます。		
8. 研究の目的	当院でのsimple TESEの施行症例および精子採取率について検討し、精子採取できた症例については体外受精の成績についても検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	当院で挙児希望を主訴に来院し、無精子症と診断され、肉眼的精巣精子採取術 (simple TESE)を施行した患者様のカルテデータを使用します。すなわち、患者様の背景、採血結果、精子採取の有無、採取した精巣の病理学的所見について解析し、精子採取率について検討します。また、精子採取できた患者様については体外受精の成績についても検討します。		
10. 個人情報の保護	データは匿名化(氏名等を削除し、この研究のための識別符号を付与)され、関係者以外アクセスできないパソコン中に保管・管理されます。また、対応表に関しましては同様に別のパソコン中に保管・管理されます。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。対象者の方より拒否の申し出があった場合は研究対象から除外しデータを削除致します。ただし、研究結果公表後は公表済みのデータを修正することは出来ませんのでご了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	特にございません		
12. 連絡先	産科婦人科 講師 福原 理恵		
	電話	0172-39-5107	FAX 0172-37-6842